

平成22年度事務事業評価シート (21年度実施事業分)

事業番号	02 04 02	中期総合計画主要施策番号	5-08			担当課	部・課	企画部 交通政策課			
事業名	空港管理費					内線	3737				
						E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp				
事業の概要等	事業の目的	・信州まつもと空港を適正に維持管理し、安全、快適な航空事業の確保を図る。 ・空港ジェット化に伴うこれまでの経緯をふまえ、空港周辺の環境整備を行い、地元地区の理解と協力のもとに空港運営を行う。									
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・空港施設は引き続き安全が確保されているが、平成6年度のジェット化開港以来15年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。 ・空港周辺の環境整備については、空港ジェット化時の経緯をふまえ、着実に実施していく必要がある。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・従来より滑走路等舗装、灯火電力監視装置、航空灯台等について、適切に修繕を実施してきたが、老朽化により抜本的な対策が必要となっている。 ・地元地区とは空港ジェット化時の経緯をふまえ、空港周辺の環境整備を図ることで合意している。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・老朽化が進んだ滑走路等舗装の大規模な修繕、部品が製造中止となった設備の更新、空港周辺の環境整備などを計画的に行う必要がある。 ・地元地区の理解と協力を得ながら、安全・安心な空港機能を維持管理する必要がある。									
	事業内容	・空港施設の維持管理(滑走路の修繕、消防警備、航空灯火の保守管理、除雪、緑地管理) ・滑走路巡回点検、運航の障害となる鳥獣の追い払い、禁止している風揚げ・花火等の監視 ・信州まつもと空港住宅騒音防止工事機能回復工事補助事業の実施(補助率:【県】3/4【事業主体】1/4) ・信州まつもと空港大規模修繕事業の実施(航空灯火、滑走路等舗装 H21~)									
	実施期間	S40 ~	根拠法令等	長野県松本空港条例、騒音防止工事補助金交付要綱・信州まつもと空港周辺環境整備事業補助金交付要綱							
成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H21)	達成状況			評価					
	信州まつもと空港を適正に維持管理し、安全、快適な航空事業の確保を図るとともに、空港周辺の環境整備を行うことにより、空港の管理・運営に対して地元地区の理解と協力を得る。	地元地区の理解と協力を得ながら、適正な維持管理により、県民はじめ広く空港を利用する者の安全を確保する。	平成21年度においても空港の維持管理を原因とする事故は一度も発生せず、利用者の安全確保が図られた。			a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下					
事業コスト	区分	単位	20年度	21年度	22年度(当初)	21年度の概要					
	最終予算額 (A)	千円	260,819	464,024	203,706	国庫・県単	国庫・県単				
	決算額 (B)	千円	184,057	352,798		実施方法	補助、負担金、委託				
		B(H22はA)のうち一般財源	千円	157,836	196,130	183,248	歳出節別内訳等 (単位:千円)	共済費76、賃金673、報償費47、旅費631、需用費42,585、役務費3,433、委託料91,985、使用料18,928、工事請負費113,736、備品購入費2,600、負担金・補助金77,857、公課費247 (新経済対策 44,651) (H22繰越額:95,298)			
	概算給与費	従事する職員数	人	8.00	8.00	8.00					
		概算給与費 (C)	千円	57,192	56,624	56,624					
	概算事業費 (B(H22はA)+C)	千円	241,249	409,422	260,330						
事業実績	内容	単位	20年度	21年度	22年度(予定)	左記以外の21年度の実績					
	運用日数	日	365	365	365	緑地管理業務委託において、刈草を焼却処分から近隣の酪農家へ無償提供することにより、経費の節減に努めた。					
	機能回復補助事業実績数	戸	2	1	2						
事業の課題	区分	判定・説明									
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・平成22年6月から(株)フジドリームエアラインズが新しく福岡、札幌線に就航するほか、国際チャーター便、民間小型機や消防、警察ヘリの発着など、空港は引き続き重要な役割を担っている。 ・国の指針により、空港の維持管理は設置者である県の責務とされている。					
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり							
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり							
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり							
課題の総括	・信州まつもと空港は県内唯一の空の玄関であり、国内遠隔地や海外との交流の窓口として、さらに防災拠点として重要な役割を果たしており、その必要性は変わっていない。 ・一方で、平成6年のジェット化開港以来15年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでおり、国では無線設備更新を計画しているほか、県においても国庫補助事業の活用を図りながら計画的に大規模な設備の更新や修繕を進めるなど、引き続き安全・安心な空港として維持管理していく必要がある。										